資料4

議題４　総合教育会議について（尾張旭市提出）

市名	回答	
	（１）協議題の設定について工夫している点	（２）総合教育会議を踏まえた施策
名古屋市	会議の３か月前から数回にわたり打合せを行うなど、首長と教育委員会 が緊密に連携するよう工夫している。	なごや子ども応援大綱の策定
豊橋市	・豊橋市は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条の2の規定に基づき、総合教育会議の事務を教育委員会に補助執行している。 ・協議題は、年度初めの４月の教育委員会会議において年間（年４回開催）の協議題（案）を提示し、教育委員から意見を伺っている。 ・協議題の内容については、教育委員会として新たに実施していきたい施策や今後充実を図っていきたい施策のほか、まちづくりの観点など市長部局と連携を図っていく必要がある施策を選定している。	・民間プール施設等を活用した水泳授業の実施拡大 ・とよはし版GIGAスクール構想の推進 ・放課後の新たな学びの場である「のびるんｄｅスクール」の全小学校での実施 ・吉田城址の保存と活用 など ※総合教育会議の協議題の中で新規・拡充など予算化された施策を掲載
岡崎市	協議題の設定にあたっては、庁内各課へ照会を実施しており、回答があったものについて担当課と協議のうえ決定していますので、特段工夫をしている点はありません。	・教育委員の意見を反映した「学校教育等推進計画」の策定 ・少人数学級「岡崎市32人学級プロジェクト」の実施に向けた検討
一宮市	・教育にかかる諸問題についてフリートークを設定 ・「一宮市の学校施設の現状と今後のあり方について」を議題に取り上げ、現状について情報を共有することでプールの統合・施設の改築（減築）・統廃合等、諸問題の解決に繋げる。	・「一宮市中学生制服のあり方について」を議題に取り上げ、令和の時代にふさわしい新制服の導入に繋げた。
瀬戸市	平成27年度より1～2回/年開催してきましたが、その議題の多くは小中一貫教育に関する議題であり、議題をしぼり、継続的に意見交換を行っています。	議題「小中一貫教育の推進」は、教育アクションプランに基づく施策であり、総合教育会議の意見を参考としているところです。
半田市	【これまでの協議事項】 Ｒ３　切れ目のない支援体制（医療的ケア児対応）について 　　半田市におけるＧＩＧＡスクール構想について Ｒ２　半田市教育大綱について 　　ＧＩＧＡスクール構想について Ｒ１　小中学校への防犯カメラの設置について 　　外国人児童生徒への初期指導について 【協議事項の設定】 総合計画や教育大綱に掲げる目標等を実現する具体的な事業や当該年度の組織目標に掲げる事業など、重要度や注目度の高い事業を中心に検討している。	半田市の総合教育会議は事務局を学校教育課（市長部局から事務委任扱い）が担い、当該会議での議論によって翌年度当初予算に影響することも考慮し、毎年８月頃に開催している。 前述のとおり、重要度や注目度の高い事業を中心に本市としての方針や具体的な取組みを提案し、教育委員の意見を伺う中で市長部局と情報共有を行っている。 また、令和４年度より市長部局が開催する「※幸せになるための教育を実現する会議」にてまとめた意見等を当該会議にて協議事項に加える運びとなっている。 ※幸せになるための教育を実現する会議 すべての市民が幸せを感じられる市政を基礎に、義務教育課程にある子どもたちが幸せを感じ、また、幸せになる力を身に着けられるよう、実現可能な制度等を議論するため、市長部局（企画課）が中心となり学識経験者などの参画を得た協議体
春日井市	当市も、協議題の設定には苦慮しているのが現状である。 その中で、教育委員会及び学校現場などで解決すべき、「いじめ」、「部活動」、「不登校対策」などの問題を取り上げている。その問題の現状と課題を整理し、事務局からの説明や事前に各教育委員からの意見を聴取するなど、市長と教育委員が、会議の場で有意義な意見交換ができるように工夫をしている。	・いじめ防止基本方針の策定（平成２９年２月） ・部活動ガイドラインの作成（平成３１年３月） ・不登校支援室の設置（令和４年度全校設置。不登校対策の施策の一つ。） ・中学校の新しい制服（令和５年４月に開始予定）
豊川市	本市では、市長と教育委員会が、十分な意思の疎通を図り、本市の教育に係る課題やあるべき姿を共有し、教育行政を効果的に推進していくため年2回程度を目安に総合教育会議を開催している。議題としては、今後の教育委員会事業に関するもののほか、直近では、教職員の働き方改革と、それに伴い展開したいと考えている施策等のほか、教育行政に関わりの強い児童クラブの今後等についても協議題とし、市長部局の職員による説明が行われたという例もある。 （参考：R3） （第1回）第3期豊川市教育振興計画の策定について、教職員の働き方改革について、令和4年度教育行政に関する施策について （第2回）豊川市教育大綱の変更について、放課後児童健全育成事業（児童クラブ）の現状について、令和4年度以降の教育関係事業について	総合教育会議を皮切りとした新規事業はないが、令和2年度には新型コロナウイルス感染症を踏まえ大幅に前倒しされたGIGAスクール構想事業について協議し、今後の活用方法や将来的な更新費用、教員のICT活用指導力向上などの多岐に渡る議論を行うなど、従来から市長と教育委員会の連携を継続することに資している。
津島市	会議の開催時期に、国、県、市において取組んでいく事業、取組んだ事業を議題として取り上げるようにし、教育に関わる事業の動きや進展について、関連する資料を用意し、資料を使って説明を行っている。	GIGAスクール構想（１人１台タブレット整備、大型提示装置整備、プログラミング教育、デジタル教科書）の取組、国際理解教育（県内領事館との交流事業）の充実、コミュニティ・スクールの取組・推進、などについて議題として取り上げ、事業に対する意見をいただき、取組や方向性などの共有を図った。
碧南市	学校教育課及び教育委員と事前に相談し、話題性のある教育施策を取り上げるようにしています。	不登校対策（適応指導教室の市中心部への移設）、プログラミング教育など。
刈谷市	社会情勢だけでなく、本市の教育現場においての課題や注力している取組を踏まえて事前に教育委員会と打ち合わせを行い、協議題を設定しています。	教育現場のＩＣＴ化の推進など、市の施策を進めるにあたり、総合教育会議は教育現場の意見を聞く場となっております。 また、教育現場で行われる施策については、総合教育会議にて策定された教育大綱をもとに行われています。

議題４　総合教育会議について（尾張旭市提出）

市名	回答	
	（１）協議題の設定について工夫している点	（２）総合教育会議を踏まえた施策
豊　田　市	・教育に関する法改正や社会的なトレンド、また豊田市教育行政計画の重点施策からのテーマ選定に加え、教育委員が希望するテーマ案について意見をいただく機会を設けている。 ・議題は論点を明確にし、教育委員に事前レクを実施するなどポイントを絞った議論となるよう準備を行うとともに、必要に応じて市長と教育委員との非公開の意見交換を実施している。 ・会議の開催および市長と教育委員の議論をよりスムーズに実施するため、令和４年度から補助執行により教育委員会が総合教育会議に関する事務を取り扱う。	・ＩＣＴ教育：ネットワーク環境の整備及び学習支援ソフトの導入など ・不登校対策事業：適応指導教室の地域展開
安　城　市	事前に教育委員会と調整し、議題事項を決定しています。（ハード事業・ソフト事業問わず） なお、必要に応じて学校現場の確認に伺い、協議事項と成りうるか判断しています。 また、市長部局への一方的な要望会とならないよう内容についても協議しています。	R3総合教育会議において協議した結果、臨床心理士の増員を実施しています。（R4当初予算）
西　尾　市	教育部局と情報共有のうえ議題を設定するようにしています。	総合教育会議において、教育委員会の権限に属する事務の補助執行について協議をし、、市長部局で行う文化・スポーツ・観光が融合した新たな交流の共創への取り組みについて確認しました。これに伴う機構改革として、文化・スポーツを観光と融合し、総合的な事業展開を行い、交流人口の拡大を推進するために「交流共創部」を市長部局に新設しました。これにより、文化財を観光資源として活用していく等、より一層の文化、観光及び地域振興を推進していく体制となりました。
蒲　郡　市	国の動きによる議題（例：ICT教育）や市が抱えている問題を元に議題（例：人口減少による、教育方法・公共施設の在り方について。外国人増加による児童の教育について等）を設定している。	平成３０年度に「地域コーディネーター」について議論し、令和元年度に設置している。その他、ICT教育についても議論した内容を参考に、タブレットや大型モニターの設置に至っている。
犬　山　市	犬山市においても、協議題の設定には苦慮しています。 最近では、年に３回程度開催しています。そのうち１回は、次年度予算に関連する内容を協議題としています。それ以外は、会議の都度、市長、教育委員会の両者から協議題の希望を聞き取って設定しています。	犬山市においては、主に施策の方向性について、確認・調整する場となっています。ここ最近（R1～R3）の主な協議題は下記のとおりです。 ・子ども未来園のあり方について ・小中学校のあり方について（城東小学校・中学校について） ・予算について ・教育施策（読解力向上）の検証と次年度の取組について ・小中学校におけるパソコンの導入について ・文化財の保存・活用について ・文化、スポーツについて ・不登校について ・犬山市の保育に関する提案について ・犬山の教育施策2021の成果の検証と2022年以降の方向
常　滑　市	特になし。 ※担当がいくつかテーマをピックアップして、教育長、部課長等と相談して設定している。	教育大綱の策定など。
江　南　市	本市におきましては、「江南市の教育に関する大綱」を４年ごとに見直しを行うとともに、その進捗状況を毎年議題として挙げています。この他として、その年度に課題となっている議題を取り上げています。	近年の議題としましては、平成30年度は「学校水泳授業の民間委託」、令和２年度は「児童生徒１人１台学習用端末の整備について」、令和３年度は「新学校給食センターについて」を取り上げています。大きく方針が変わるといったことはありませんが、市長と教育委員とで意見を交わすことで理解が深まり、事業を進める上で有意義な会であったと考えています。
小　牧　市	教育行政における重点施策を協議題として設定しているが、直近２回については、市の基本計画（小牧市まちづくり推進計画第1次基本計画）の策定や小牧市教育振興基本計画の見直しに向けた協議を行うと同時に、教育行政の重点課題（ICT教育の推進、外国籍児童への対応等）についても意見交換を行い、共通認識を持つ場とした。	特になし。
稲　沢　市	本市では、毎年７月と２月の２回総合教育会議を開催しています。１回目の会議の議題については、事務局からの提案のほか、事前に教育委員からも議題案を提案していただいており、それらの中から議題を決定することで、教育委員により深く関わっていただけるよう工夫しています。 また、２回目の会議については、次年度予算が固まる時期での開催となりますので、議題を教育委員会関連予算のうち主要事業に関する説明と意見交換に固定し、毎年度開催しています。	総合教育会議での協議結果を受けて直接的に導入された新規施策等はありませんが、教職員の多忙化解消やＧＩＧＡスクールにおけるタブレットＰＣの活用方法など、総合教育会議で協議したことが、施策拡充のきっかけの一つになったと考えています。
新　城　市	要綱に定めている他に、市長部局と教育委員会側において、その都度協議題を検討･調整しています。	教室への空調設備の早急な実施やWi-Fiの整備等について、意見交換をしてきています。
東　海　市	教育委員会が抱えている課題等について情報を共有し、議題を設定している。	・スクールソーシャルワーカーの配置 ・ICT支援員の拡充

議題４　総合教育会議について（尾張旭市提出）

市名	回答	
	（１）協議題の設定について工夫している点	（２）総合教育会議を踏まえた施策
大　府　市	市長部局と教育委員会が共有できる課題を協議事項として設定するため、市長部局と教育委員会の事務局で事前に協議事項に関する調整を行うようにしています。 また、協議事項は可能な限り、教育行政に対する全国的な課題を設定したり、当該年度の重点施策としたものを協議事項としたりしています。	近年では、教育大綱及び教育振興基本計画の策定、幼保児小中連携教育の指針の改訂、GIGAスクール構想の推進、通学路の安全対策の推進等について協議し、それぞれ協議した事項を踏まえた施策を推進しています。
知　多　市	本市としても議題の設定には、大変苦慮しており、昨年度は「コミュニティ・スクールについて」「GIGAスクール構想について」を議題としました。 特に工夫をしている点はありませんが、教育委員会のニーズに合った議題を設定するようにしています。	昨年度議題として取り上げた、「コミュニティ・スクールについて」は、今年度からモデル校での運用が始まり、「GIGAスクール構想について」は、学校サーバのセンターサーバ化が今年度秋頃に控えています。市長部局と教育委員会が連携しながら、様々な施策に取り組んでいます。
知　立　市	定例教育委員会等で教育委員から出た意見も参考に、議題を設定している。	知立市いじめ防止基本方針の策定 成人式の対象年齢の決定
尾張旭市	協議題の設定に当たっては、新たな施策の立案や予算編成につながるようなものを選ぶようにしています。 ただし、当会議の事務局である企画課は、教育を取り巻く課題等に疎いため、協議題の設定に関しては、教育委員会の協力に頼らざるを得ない状況にあります。	令和3年度は、「不登校対策」について協議をし、その結果等を踏まえ、「不登校親の会」を新規開催や、心のアドバイザーの増員等を実施しました。 令和2年度は、「小中学校の増築」について協議をし、その結果等を具体の設計内容に反映しました。
高　浜　市	輪番で学校長に出席してもらい、学校の経営方針とともに学校現場の状況を報告する機会を設け、総合教育会議委員との意見交換を行っている。	特にありません。
岩　倉　市	会議の都度、その時に協議すべき内容について、教育委員会事務局と調整し、設定している。	放課後児童クラブとの一体的な放課後子ども教室、GIGAスクール構想など
豊　明　市	いじめ等の案件があれば議題として設定するが、特別にない場合は、テーマを絞らず教育現場全体の状況を見ての意見をいただく場になっている。	スクールソーシャルワーカーの増員。
日　進　市	教育委員会の予算要求をするだけの場とならないように、幅広くテーマを選定し、内容が委員に分かりやすい資料の作成を心掛けている。	各種プランや方針の策定時の意見交換、事業の推進状況の情報共有の場等として、開催している。
田　原　市	○基本的に意思決定を必要とする案件の取扱いはない。（意思決定を必要とする場合は、事前に教育委員会や政策会議（市の意思決定の場）において十分議論された案件を取り扱っている。） ○主として情報交換の場として活用している。	○部活動の見直しについて ○学校プールの集約化について ○いじめ・不登校問題への対応について ○市総合教育大綱・教育振興基本計画の改訂について　　など
愛　西　市	いじめや不登校の現状（非公開）について、小中学校施設の老朽化については長年の課題でありますので、議題として挙げ、実績を報告していただいております。 【参考】愛西市における過去の協議題 Ｒ３　中学生体験学習事業について ＧＩＧＡスクール構想への取組状況 学校部活動の地域クラブへの移行について 小中学校施設老朽化対策について 小中学校規模等適正化について いじめ・不登校の現状 Ｒ２　学校教育における当面の課題について ・学校行事の見直し ・教員の働き方改革 ・いじめ・不登校の現状 ＧＩＧＡスクール構想の現状と今後について 校舎老朽化対策について Ｒ１　第１回 小中学校施設老朽化の現状について 不登校児童・生徒への対応について 小中学校適正規模等地域説明会に向けての取組みについて 第２回 小中学校施設老朽化の現状と今後の対応について 生徒指導対応について ＧＩＧＡスクール構想への取組について	総合教育会議は協議及び調整を行う場であるため、総合教育会議を踏まえた施策はございません。
清　須　市	教育部所管において課題と認識している内容について、関係各課と調整を図りながら議題を設定している。	・中学校生徒海外派遣研修事業の中止と小学校高学年の英語教科化に伴う教育体制の整備を行った。 ・清須市はるひ絵画トリエンナーレ事業（公募展）の中止と収集作品の活用及び、地域学校協働活動事業を推進していくための規則等の整備を行った。
北名古屋市	国の政策を踏まえ、本市の課題を抽出し議題としている。	・北名古屋市版スタートカリキュラムの導入 ・子どもの放課後居場所づくり対策
弥　富　市	教育委員会事務局と連携を図り、定例教育委員会の協議事項等について意見交換している。	・子どもの教育環境に関するPTA役員との意見交換会について（小中学校統廃合に向けて） ・公共施設再配置計画（案）について ・学習指導要領改訂に向けた取組みについて ・弥富市のいじめ・不登校等の現状と適応指導支援教室の運営状況について

議題４　総合教育会議について（尾張旭市提出）

市名	回答	
	（１）協議題の設定について工夫している点	（２）総合教育会議を踏まえた施策
みよし市	議題は、教育委員会からの提案によるが、基本的に開催時に課題となっている議題を掲げ、市と教育委員が共通の理解のもとで連携できるよう工夫している。	現状の課題に対して議論を行うため、会議で新たに施策について扱うことはない。
あま市	全庁を対象に教育に関する議題を募っています。 出てこない場合は、他ジャンルの各種計画において連動して検討するものがあれば議題としています（公共施設等総合管理計画等）	
長久手市	教育大綱に定める３つの柱「自然共生」「地域共存」「多様性尊重」を大切にできる人づくりを推進するため、会議に有識者を呼ぶなどして共通理解を深めている。（令和3年度は臨床心理士、（一社）ジェイス代表理事、「やりすぎ教育」著者の武田信子氏によるレクチャーを実施）	教育大綱に定める教育方針に基づき、毎年モデル校を設定して具体的な取り組みを強化している。